

令和5年度 事業計画

NPO 法人小児がん・まごころ機構(MOCC)

事業実施の方針

令和5年度も、NPO 設立当初から続けてきた ICT を活用した日本における永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けた事業を引き続き実施する。

また、継続して、アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) の活動及び事務局機能の支援を行う。そして、その中で、アジアにおける小児がん長期フォローアップを支援する活動を進める。さらに、WHO 及び SIOP/SIOP-Asia と密に連携し、世界的なコロナ禍や戦争などによって困難になっている「WHO(世界保健機関)グローバル・イニシアティブ」(2030年までに、世界の小児がんの治癒率を60%以上に上げる。2018年発表。)を推進するため、国内外における啓発・広報活動を行う。

具体的実施事業について

1, 【日本国内事業】

WHO GICC の国内における啓発活動及び永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けての取り組みを行う。

(1) WHO GICC の日本国内での啓発・広報活動

- ・2023年9月23日(土) 国内における WHO GICC 啓発イベント(Global Gold September Campaign)
主催：NPO 法人小児がん・まごころ機構(MOCC)
アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG)
共催：SIOP/SIOP Asia, WHO, St. Jude Global, Amazon Japan GK
(国立がん研究センター) (同時通訳：日本語と英語)

- ・2024年2月4日(日) ICCD 国際小児がんデー・イベント
主催：NPO 法人小児がん・まごころ機構(MOCC)
アジア小児血液・がん治療研究グループ(APHOG)
共催：SIOP/SIOP Asia, Amazon Japan GK
(ホテルニューオータニ佐賀)

- ・小児がん経験者及び家族や一般人を対象とした講演、オンラインビデオによる啓発活動等

(2) 日本における永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に向けた事業を引き続き実施

- ・小児がん経験者向けアプリ「follow up」追加機能開発及び検証の支援
- ・永続的な小児がん長期フォローアップの仕組みの確立に必要な活動

(3) 海外人材育成支援事業に向けた取り組み

- ・アジアを中心に小児がんに関わる人材育成の支援事業を日本国内にて着手する。
(準備の進行状況によっては、次年度に持ち越す可能性もあり。)

(4) 広報・啓発活動

- ・メールマガジン配信
- ・ホームページリニューアル・リリース

(5) 会員制（会費制・非会費制）の整備と定款変更

(6) 認定NPO取得に向けた活動

(7) その他、Vision・Mission達成に向けた活動

2. 【海外事業】

アジア小児血液・がん治療研究グループ (APHOG) の事務局機能を担いその活動に対する支援を行うと共に、WHO GICC の啓発・広報を進めるための活動を行う。

(1) APHOG の活動支援

- ・ APHOG 定例コアメンバー会議の推進と支援活動
- ・ APHOG プロジェクトの推進支援活動
- ・ 2023年10月 SIOP2023 (オタワ・カナダ) APHOG/SIOP Asia Joint Symposium 開催の支援活動
- ・ 2023年12月 第2回 APHOG Global Seminar 2023 (Online) 開催の支援活動
- ・ 2024年6月22日(土)～25日(火) “SIOP Asia 2024” (横浜) 開催中における
6月25日(火) “APHOG Annual Meeting 2024 “と” APHOG Annual General Meeting 2023 “の開催支援活動
- ・ APHOG Homepage のリニューアル
- ・ APHOG Newsletter の発行支援

3. 【募金活動】

- ・ 企業、団体、個人
- ・ ふるさと納税 (NPO 等の支援)、クラウドファンディング他